

桃山学園開校後の 通学バス利用について



林悦子 議員

問 通学距離が、紫尾地区も500m伸びる。徒歩通学とバス通学を分ける基準は？

答 教育部長 バス通学は、半径2.5〜3.5km以内の小学1年〜3年生で、紫尾団地付近からつくし湖下付近。亀熊かまや食堂さん先500m、桜川中学校付近の小学1年〜3年生。酒寄地区小学生全員。それ以外は、全員徒歩通学です。

問 バス通学料金の保護者負担はあ

答 各小中学校には、校歌の作者や歴史的人物の書がある。

答 教育部長 市が負担します。保護者負担はありません。

問 りんりんロードは、人目につかず、自転車が行き、危ない場合があるが、通学路になるのか。

答 教育部長 紫尾地区は、県道東山田・岩瀬線とりんりんロードの交差点から入るルートを考えています。南紫尾・団地の児童は、そこまでは、県道つくば・益子線を北上します。真壁地区では五町内・古城・山尾・飯塚方面からは飯塚児童館前から真壁小までは、これまでどおり。その後真壁小東側を通り、りんりんロードに入るルートを考えています。

る。これら品々の保存展示を今後どのように考えているか。

答 教育長 紫尾小、桃山中には、詩人、白鳥省吾の書、校歌がある。真壁小には、幕末〜明治期に活躍した山岡鉄舟の書「真壁校」※1。洪沢栄一の書「為爾惜居諸」※2があり、大変有名な方々です。また、作曲家

その他の質問 上曾トンネルは、県道であっても市の負担で整備する訳だが、15年前の試算から増額分については、白田県議とともに、市長も知事への交渉を努力してもらえないか

※1「校」は学ぶ所という意味
※2時間を無駄にせず一生懸命働きなさい

保育施設について



大山和則 議員

問 昨年度幼稚園と保育園が統合され、6施設を3施設にし認定こども園になり、どの程度予算が削減されたのか。

答 教育部長 約1000万円程度削減が図られています。

問 まかべ幼稚園の定員、園児数と今後の見通しは。

答 教育部長 定員は8保育室240名です。園児数は平成29年4月1日現在で、4歳児が1学級で20名、5歳児が1学級で31名、合計51名です。今後の見通しは、桜川市立保育所・幼稚園再編計画では、園児の推移を考慮し民間保育園、幼稚園と協議しながら、民間への移行を検討していきます。

問 教育部長 定員は8保育室240名です。園児数は平成29年4月1日現在で、4歳児が1学級で20名、5歳児が1学級で31名、合計51名です。今後の見通しは、桜川市立保育所・幼稚園再編計画では、園児の推移を考慮し民間保育園、幼稚園と協議しながら、民間への移行を検討していきます。

桃山学園

問 桃山学園の工事の進捗状況は。

答 教育部長 5月末現在で約25%の進捗率です。計画に沿って順調に作業が進められています。現在までに基礎杭工事や基礎工事の施工が終わり、地上1階部分の躯体工事に着手しています。このまま順調に作業が進められ、平成30年2月に竣工検査を受けて引き渡しを受けた後、引っ越しという

ことになりま

問 桃山学園のスクールバスと通学路について。

答 教育部長 通学路の現地調査を実施し、統合準備委員会通学分科会で協議した結果、桃山中学校校門を中心として、半径2.5km以内の小学生は自宅から徒歩による通学、次に半径2.5kmから3.5kmの間に自宅のある、1年生から3年生の小学生及び3.5kmを超える小学生は、バス等の通学支援を考えています。

問 建設部長 通学路の整備に関して、

は、県道石岡筑西線から桃山学園まで、歩道を備えた新設道路の整備、計画を国庫補助金、合併特例債を活用し、早急な整備を図りたいと考えています。

少子化対策としての 学校給食の無料化について



鈴木裕一 議員

問 昨年度桜川市出生人数は233人です。ところで、大子町が給食費無料化になったようですが、他市の状況を伺いたい。

答 教育部長 大子町は全額助成で、条件つきで全額助成は古河市、第3子以降は石岡市など6市町

で、半額助成は神栖市など4市町です。

問 小中学生で第3子の数を無料にした場合は、どのくらいの金額がかかるのか。

答 教育部長 小中学生では176人で、無料にした場合は760万円必要となり、幼稚園児を入れると184人となり、約800万円になります。

問 教職員と職員の数と1カ月の給食費は、どのくらい払っているのか。

答 教育部長 教職員が331人、給食センター職員46人、合計377人で、給食費は、1カ月4300円となっています。

問 1カ月4300円だと、1食当たり200円が原価だと思えます。1食300円にすれば、377人で年約800万円になります。第3子の無料化ができますがどうですか。

答 教育長 賄材料費を給食費として徴収し、4300円は中学生の金額で設定しています。プラスアルファの部分については、近隣、関係各課とも協議をしていくことが必要だと思えます。

問 学校給食が始まって50年以上たちます。その間にいろいろ社会情勢も変化している中、一般の人から納得してもらえないのではないかと。

答 教育長 一般の食糧費と比較した、1食当たりの単価を見た場合は、比較することは難しいと思います。県内自治体を調査、確認して検討していきたいと思えます。

その他の質問

他の市町村の教職員の給食費も同じなら桜川市から上げることはできないので、少子化対策として、少しでも早く、第3子の無料化、第2子の半額を実現できるように頑張っていきます。

有害鳥獣捕獲における 感染リスクについて



萩原剛志 議員

問 有害鳥獣の捕獲の際に、さまざまに危険やリスクがある。中でも、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱など、マダニなどによって感染するリスクもある。有害捕獲は市の責任によって行われると考えられるので、どのような対策を講じていくのか。

また、今後の対策として、血液検査の実施に関してはどういうように考えているのか。

答 経済部長 感染予防として、ゴミ手袋や長靴、長袖作

業服等の着用を怠らないように、注意喚起を行っています。安全な有害捕獲体制の構築を図っていきます。

定期的な血液検査については、県や関係機関とよく相談して、検討していきたいと思えます。

防災課の業務について

問 市のホームページで防災課の業務について、「(6)武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律に関する事」と記載されているが、どのようなことなのか。

答 総務部長 国の法律によって、地方公共団体は国内外からのミサイル攻撃及

びテロ攻撃による武力攻撃等があった場合に、国民を保護するための措置を的確に、かつ迅速に実施し、関係機関と国民の保護のための措置を総合的に推進する責任があります。

その他の質問

桜川市第二次総合計画の中でヤマザクラを今の桜川市のまちづくりの中心としているように、具体的などのようなように進めていくのか
犬猫の殺処分ゼロを目指す。野良猫の不妊・去勢手術をして地域で飼育する「地域猫活動」の推進について
桜川市の英語ハンフレットの作成について
北朝鮮のミサイル発射等がある中で、市内に着弾する可能性がある場合の市の対応は